

大阪府知事 吉村 洋文 様

公明党大阪府議会議員団
団 長 林 啓 二
幹事長 肥後 洋一朗

緊急事態宣言に係る措置に関する緊急要望

本府は新型コロナウイルス感染の急拡大を受け、政府に対し緊急事態宣言の発出を要請した。

緊急事態宣言が発出された際の措置については、社会経済活動に甚大な影響を与えることが懸念される。一方、宣言発出の効果が早期に表れ、深刻な感染状況を脱するためには、府民・事業者・医療機関・市町村等、オール大阪で一丸となった取り組みが不可欠である。知事には行動変容につながる府民への協力を最大限呼びかけるとともに、必要な施策に総力をあげて取り組むことが求められている。

公明党大阪府議会議員団は、現下の状況を踏まえ、緊急要望をとりまとめた。知事におかれては、ここに記した項目を早急に府政に反映されることを強く要望する。

記

【1】府内事業者等への支援

○営業時間短縮の要請を府内事業者に応じていただけるよう、協力金制度については、国制度に加え、府独自の支援策を講じること。

○「(仮称)時短要請外支援金」を創設する等、時短要請に応じた飲食店の取引先等をはじめ緊急事態措置に伴い影響を受ける事業者等に対する支援策を講じること。

○事業者等が、テレワークや非対面型ビジネスモデルへの転換や換気等の施設改修等、必要な感染防止対策を後押しするための支援策を講じること。

【2】医療提供体制・高齢者施設等への支援

○医療提供体制のひっ迫を抑えるべく、新型コロナ受入病床のさらなる確保や診療・検査医療機関の指定を促進すべく、全医療機関に協力を要請するとともに必要な支援策を強化すること。また、近隣府県との連携強化等により医療人材や機器等の確保に努めること。

○過酷な現場で引き続き活動を続ける医療従事者等に対する労苦にお応えすべく、慰労金のさらなる支給やメンタルヘルスケアの強化、条例制定等による差別・偏見から守る取り組みを実施すること。

○保健所や入院フォローアップセンターのさらなる体制強化と宿泊療養及び自宅療養者のきめ細やかな健康観察を行うべく、パルスオキシメーターの配備強化やICTのさらなる活用に取り組むこと。

○医療機関、高齢者施設等の入院・入所者は、重症化リスクが高いことから、医療機関、高齢者施設等に勤務する者、入院・入所者全員を対象に一斉・定期的な検査を実施する等、更に踏み込んだクラスター対策に取り組むこと。また、「(仮称)高齢者施設等検査センター」を早期に設置すること。

○新型コロナウイルスワクチン接種体制の確立については、府民が速やかに接種できるよう、府として医療従事者等への接種体制や専門的相談体制の確保に努めるとともに、ワクチン接種が市町村によって遅れが生じることのないよう、市町村と緊密に連携し、万全の準備を整えること。また、ワクチン接種に係る正しい理解を早い段階から広く府民に周知するため、広報を強化すること。